

広報 UNOYAMA

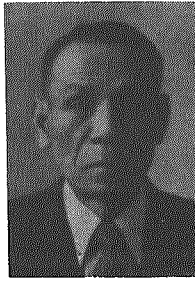
第 50 号

発行所 黒埼町役場
印刷所 共立印刷廠

新年のあいさつ

「総合計画に基づいて 全力を傾注」

町長 森清太郎



町民の皆様あけましておめでとうございます。輝やかしい新春を迎えるにあたり、町民各位のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年とともに町制施行周年を迎えるに際し、更に意を新たにし、町民福祉増進のため最大の努力を傾注する所存である。また昭和五十一年開通をめざして北陸高速自動車道並びに上越新幹線の両線開通、更に国道8号線の拡幅工事、インターチェンジの設置等により、本町は大きく変ぼうすることが予想される。市街化区域に

ついて住宅化の促進を、市街化調整区域については農業振興地域整備法の区域設定の作業を進め農振法の指定を受けるべく作業中である。人口急増により山田小学校を分離して立仏小学校を建設し現在工事を施行中である。規模は校舎鉄筋コンクリート造り三階建、面積一七・一六㎡屋内運動場七五〇㎡、渡り廊下三八㎡事業費二億一千八百四十五万五千円の巨額の費用を投入して、本年四月開校をめざし工事を進めている最中である。一方、県立高校誘致については昨春来より町民各位並びに関係機関各位のご支援ご協力により県当局に対し独立した県立高等学校の誘致運動を行って来たがご承知のとおり新潟学区の高校新設は八区域から誘致の要請がなされていたと

11月現在	(前月比)	
人口	18,050	+32
男	8,856	+32
女	9,194	+29
世帯数	4,251	+10
11月1日～末日		
出生	9	
死亡	33	
婚姻	54	

ころ、本町は昨年十一月二十八日県知事と高校誘致について、年次計画的に普通高校として新設することを約束したのである。それによると、本年四月から巻農産高校黒埼分校に普通科二学級を増設し将来八学級にする。用地買収は概ね昭和四十八年度二分の一(予算措置は二月補正に行う)四十九年度二分の一買収する予定であり校舎建築は五十一年度から開始し、

新春を迎えて

「福祉社会確立に努力」

議会議長 江端修吾



昭和四十九年の年頭にあたり、黒埼町議会を代表して謹しんで新年のごあいさつを申し上げます。

町制施行後最初の輝しい新春を迎えるにあたり、みなさま方のご健康とご繁栄を心からお祝い申し上げますとともに平素からの町議会に対するご理解とご支援に深く感謝の意を表する次第であります。昨年は経済発展から福祉国家建設がさげされたが、中東戦争に端を発した石油危機から物価の高騰と日本経済は大きくゆれ、この影響は私達地方自治体にも大きな反響としてはね返って来ることも憂

五十四年に完成したい。しかしながら社会情勢の変化も当然あることであり、独立年度の繰上げも含め、昭和五十二年度にあらかじめ検討することになった。し尿処理場の建設については広域的に処理するため新潟市、亀田町、横越村、本町の四市町村で一部事務組合を結成し、昨年四月から広域処理を行っているが、ごみ処理についてもこの四市町村で施設を設置して処理することで公害のない近代装置をほこる処理場を亀田町に建設する計画にて、昭和五十年十一月完成の予定で業務を進めている。道路改良舗装等総て、町総合計画に基づいて実施し明るい町の新しい年を迎えて町民各位が豊かで幸せになられるようお祈り申し上げます。

火を使う人なら
できる火の始末

昭和四十九年こそは、本町の一層躍進の年として、町政全般にわたる内容充実に最大の努力を傾注する所存であります。なにとぞ倍旧のご指導と、ご奔走をお願い申し上げます。

それがため今後多くの重要問題が山積していますが、特に道路、教育、交通安全対策、老人福祉、都市計画による街づくり、生活環境整備等を早急に推進すべきであると思っております。これらの解決を図ることが私達町議会に課せられた責務であり、関係機関と相まって最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。